

平成29年度 学校経営方針

長崎県立佐世保南高等学校

1 校訓

「自彊自律」「和敬禮節」 ～進んで自らを鍛え律し、他者には優しく礼儀正しく～

2 教育目標

教育基本法、学校教育法、長崎県教育方針等に則り、人格の完成をめざして、豊かな情操と道徳心、幅広い知識と教養、健やかな体を育ませると共に、理想を高く掲げ未来を創造するリーダーを育成する。

3 基本理念

- (1) 全教職員の協働精神により生徒一人ひとりの無限の能力と可能性を引き出す進学校
- (2) 授業、特別活動、部活動、講座等のあらゆる活動を通じて、自律心(学びの姿勢)を育成する進学校
- (3) 生徒、保護者、地域から信頼され、県民の負託に応えられるよう進化と深化を続ける進学校

4 本年度の重点努力目標

(1) 人間力の育成

- ① 「学習を基軸に据えた部活動との両立」を果たし、健康管理のできるタフな人間性を育む。
- ② 挨拶、掃除、容儀の指導を通じて、豊かな品性、南高生としての自覚と誇りを育む。
- ③ 時間や期限の厳守、三点固定による生活リズムの確立を通じて、自律心を育てる。
- ④ 清掃活動等の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てる。
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動等を通じて、自主性や主体性を育む。
- ⑥ 生命の尊厳、人権と多様性の尊重を理解させ、平和な社会を構築していく意志を育ませる。
- ⑦ 特別支援学校との交流活動を通じて、人間愛と共生の心、自他共に思いやる心を育ませる。

(2) 学びの体幹強化と進路実現

- ① 各学年の導入期について、教材開発や授業規律の徹底など、組織的・計画的な指導を行う。
- ② 授業におけるICT機器の積極的な活用を推進し、精選された課題(層別課題)を研究する。
また、生徒による「授業評価」を活用して良質な授業を提供する。
- ③ 積極的にコミュニケーションを行う能力を養い、主体的に学ぶことで課題を発見し他者と協働しながら解決を目指す態度を育成する。また、情報解析能力や多面的・総合的思考力を身に付けさせる。
- ④ 学力検討会、成績分析会を通じて、授業改善(授業のPDCAサイクルの確立)に取り組む。
- ⑤ 生活の記録をコミュニケーションツールとしても活用し、自らを鍛え伸ばす学びの姿勢を定着させ、自律心を育成する。
- ⑥ 「朝の読書」を通じて、感性を伸ばし価値観を広げ思考力を向上させ、基礎的学習能力の拡充を図る。
- ⑦ 「総学」の時間、卒業生による進路講演会、大学OCへの参加を通じて、進路選択能力の育成を図る。
また、早期にAO・推薦の指導に取り組む。

(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり

- ① 海外研修、高大連携事業、GTEC、朝の読書、Sプロ、南高祭、生徒会による「南高学舎創造宣言」や「朝の挨拶運動」など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させる。
- ② 育友会活動への積極的支援、保護者との連携、相互理解をいっそう深める。
- ③ 安全・安心でより豊かな教育環境を整備する。
- ④ アンケートや面談、観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、SCを含めて、教育相談委員会、特別支援教育委員会等の組織的な対応と支援を行う。
- ⑤ ホームページやメールメイト、「緑柏」、「学年だより」を通じて、情報発信に努める。
- ⑥ 中学校や地域の実態を知り、全職員が積極的に広報活動を行うことで、南高の本当の良さを伝える。
- ⑦ 平成30年度の「創立70周年記念事業」の準備を、同窓会・育友会・学校・生徒会が一体となって推進することで、母校への求心力を高め、学校の活性化を図る。

(4) ユネスコスクールの取組の推進

本校の「人間力の育成、国際理解教育、人権・平和学習、環境・防災学習など」の取組を、ユネスコスクールのプロジェクトとして再編してきた。「世界や地域の持続可能な社会の担い手に必要な、誠実で心身ともにたくましい人材を育成する」という理念で、これらの取組を推進し外部にも発信する。